

## 単施設研究用

### 研究課題名「薬剤師レジデントの調剤業務におけるルーブリック評価」に関する情報公開

#### 1. 研究の対象

2020年度から名古屋大学医学部附属病院薬剤部に入職した薬剤師レジデント一年目

#### 2. 研究目的・方法・研究期間

##### 【研究目的・方法】

名古屋大学医学部附属病院薬剤部では独自に作成した薬剤師レジデントプログラムの概要と目標を掲げ、実際の業務を通じて実践的な薬学知識や調剤方法や病棟業務等を教育しています。特に調剤業務は医師から処方された薬剤を適確に患者へ提供するために多くの薬剤知識や経験が必要となります。その為には薬剤師レジデント自身や教育担当者の薬剤師が研修習得状況を理解し、フィードバックを繰り返し行なうことが重要と考えております。

そこで我々は、2020年度より薬剤師レジデント一年目を対象に調剤室所属の常勤薬剤師(当院継続勤務年数5年以上)が当院における標準的な処方内容の調剤業務を通じて調剤に関する知識や電子カルテや薬剤情報収集等から医師への適切な疑義照会が出来るようになっているか等についてルーブリック評価とそのフィードバックを繰り返し行なう教育と評価を開始しました。そこで、今回、この取り組みが薬剤師レジデントの習得過程に対して効果があったのかを検討していきます。

##### 【研究期間】

実施承認日～2025年3月31日

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象となる薬剤師レジデントの薬剤師経験年数と以下の項目を5段階(スコア3を標準とする)に分けて日本病院薬剤師会の病院実務実習評価等を参考にルーブリック評価を作成し、その合計スコアの評価を経時的に行ないます。

##### 【用いる医療情報】

・当院の院内処方せんに記載されている薬剤名や用法用量  
・身体情報、病名との禁忌、臨床検査値、アレルギー、併用薬剤名や用法用量、併用禁忌薬や併用注意薬の併用の有無、疑義照会の具体的な内容

##### 【評価項目】

・安全な調剤を行なう  
・医師に適切な疑義照会が出来る  
・内規に則った調剤  
・ひとつの処方の処方時間  
・薬剤師としての適切な身だしなみ

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望が

あれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。ただし、解析終了後または学会・論文での発表後はデータを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

氏名 渡邊美菜子

電話 052-744-2676

FAX 052-744-2685

研究責任者：

所属 名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

氏名 山田清文

電話 052-744-2681

FAX 052-744-2685